

# Annual Report

2022

2022 年度 年報



(公財) 岐阜県国際交流センター

Gifu International Center

## 目 次

はじめに	1
1 公益財団法人岐阜県国際交流センターの概要	2
2 令和4年度事業報告	4
3 令和5年度事業計画	32
4 資料	41

# はじめに

公益財団法人岐阜県国際交流センターは、平成元年3月の設立以来、地域の国際交流活動を推進する中核的組織として、「多文化共生の地域づくり」、「地域の国際化推進のための環境づくり」、「ボランティア・民間団体の活動促進」という3つの柱立てにより事業を展開しています。岐阜県が令和4年3月に改定した「岐阜県外国人材活躍・多文化共生推進基本方針」においても、多文化共生を推進する主要機関の一つとされ、関係機関とともに施策を推進しているところです。

さて、岐阜県内においては、在住外国人が62,710人（令和4年12月末現在）と人口の約3パーセントを占めています。県内の在住外国人数は平成20年のリーマンショック以降減少を続けていましたが、平成27年から再び増加に転じました。その後、新型コロナウィルス感染症の感染拡大による出入国制限の影響等により若干減少したものの、外国人県民の定住化の傾向が顕著になり、教育、労働、コミュニケーション、防災、医療など、各分野における多文化共生を軸にした地域づくりがますます重要となっています。

当センターは、こうした環境変化に対応していくため、令和元年度から「岐阜県在住外国人相談センター」を運営し、ポルトガル語1名、タガログ語1名、ベトナム語1名の相談員の配置に加え、外部コールセンターによる14言語の電話通訳サービスを活用し、外国人と県機関や市町村等とのコミュニケーションをサポートしているほか、各種相談会を実施しています。さらに、SNSによる通話機能を利用し、電話番号を持たない外国人からの相談受付を可能にするなど、相談対応と情報提供機能の強化を図り、外国人県民が自立・活躍できる環境・体制整備に向けて取り組んでいます。

国際交流事業においては、近年、本県との交流が盛んになっているリトアニア等諸外国との草の根レベルの交流を促進するため、オンラインを活用した新しい形を取り入れながら、歴史・産業や文化など様々な交流によって先人が築いてきた縁を大切にした国際交流活動を推進しています。

このたび、当センターの令和4年度の事業をまとめた年報を作成しましたので、御覧いただければ幸いです。今後も時代の要請に応えられるよう事業を展開してまいりますので、皆様方には引き続き一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年10月

公益財団法人岐阜県国際交流センター  
理事長 吉田 和弘

# 1 公益財団法人岐阜県国際交流センターの概要

## 1 設立の趣旨

岐阜県では、従来の国レベルの国際交流から、県、市町村、住民等のいわゆる草の根レベルの国際交流への進展に対応するため、昭和62年3月に中・長期的な国際交流のあり方を定めた「岐阜県国際交流基本計画」を策定し、国際交流事業を積極的に実施してきた。また、昭和63年度には、「ぎふ中部未来博」を開催し、イベントによる国際交流を実施した。

今後、岐阜県の国際化をさらに進め、「世界のふれあい広場G I F U」を実現するためには、県・市町村、民間団体などが有機的に連携し、各種国際交流施策を強力に推進する必要がある。

このような認識のもとに、県全体の国際交流活動を活発化させるため、地域の国際交流活動を支援する中核的組織として、財団法人岐阜県国際交流センターが設立された。

## 2 定款に定める目的

この法人は、地域に根ざした国際交流拠点として、岐阜県の豊かな自然環境、歴史、文化、その他の資源をいかした国際交流活動を通じて、多文化共生社会の実現を図るとともに、諸外国との相互理解と友好親善に寄与することを目的とする。

## 3 定款に定める事業内容

- (1) 多文化共生の地域づくりに関する事業
- (2) 国際交流に関する事業
- (3) 国際協力に関する事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 4 設立年月日

平成元年3月31日

## 5 センターの歩み

昭和61年 2月	「岐阜県国際交流基本の計画（骨子）」の策定
昭和62年 3月	「岐阜県国際交流基本計画」の策定
昭和62年10月	「水と緑の国際交流基金」の設置
昭和63年10月	岐阜県が、国際交流センターの平成元年3月設立、同センターへの「水と緑の国際交流基金」の引継について決定
平成元年 3月31日	財団法人岐阜県国際交流センター設立（知事認可）
平成元年 4月	センター業務開始
平成2年 1月13日	自治省より「地域国際化協会」に認定される
平成6年 8月 1日	自治省より「特定公益増進法人」に認定される
平成10年12月 1日	インターナショナルセンター・ギザンをホテル グランヴェール岐山5階に開設
平成13年 5月 1日	インターナショナルセンター・ギザンを5階から2階に拡充移設
平成15年12月 1日	インターナショナルセンター・ギザンを2階から3階に移設
平成19年 3月18日	インターナショナルセンター・ギザンを閉鎖
平成22年 3月31日	「ひだみの国際交流・多文化共生推進基金」の取崩、岐阜県へ寄附
平成23年10月31日	岐阜中日ビル2階に移転
平成24年 4月 1日	公益財団法人に移行
平成29年10月 1日	岐阜・ベトナム友好協会事務局を設置
平成29年12月25日	岐阜・リトアニア友好協会事務局を設置
令和元年5月30日	岐阜県在住外国人相談センターを設置

## 6 所在地

岐阜市柳ヶ瀬通 1-12 岐阜中日ビル 2 階

## 7 所管官庁

岐阜県観光国際部国際交流課

## 8 基本財産及び積立金

基本財産

5,000,000 円

(令和5年3月31日現在)

## 9 組織(令和5年9月1日現在)

### (1) 役員等

理事長	吉田和弘	国立大学法人東海国立大学機構副機構長・大学総括理事 岐阜大学長
専務理事	市川篤丸	常勤
評議員	市來恭子	岐阜県国際交流団体協議会常務理事兼事務局長
	市原慶子	ぎふ女性経営者懇談会委員
	川本敏	岐阜県中小企業団体中央会専務理事
	鈴木文昭	国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学フェロー <sup>(名誉教授)</sup>
	西村寿文	国農業協同組合連合会岐阜県本部長
	服部敬	一般社団法人岐阜県観光連盟常務理事
	平井花画	岐阜県ユネスコ協会会長
	橋本慎吾	国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学 グローカル推進機構 日本語・日本文化教育センター長
	山田實紘	社会医療法人厚生会理事長
理事	吉田和弘	国立大学法人東海国立大学機構副機構長・大学総括理事 岐阜大学長
	市川篤丸	常勤
	飯塚保江	岐阜日仏協会会長
	臼井千里	岐阜県芸術文化会議監査役
	川瀬充弘	学校法人H I R O 学園理事長
	下屋浩実	岐阜県私立中学高等学校協会会長
	日比野慎治	可児市市民文化部長
	山田豊和	山県市ホストファミリーの会会长
	森川英司	美濃加茂市市民協働部長
監事	所洋士	税理士法人所会計事務所代表社員
	森健二	岐阜県商工会議所連合会専務理事

### (2) 事務局

事務局長(専務理事兼務)

事務局次長

職員 14 人

(うち正規職員 3 人 県派遣 2 人 國際交流員 4 人 地域国際化推進員 2 人  
在住外国人支援相談員 3 人)

## 2 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

当センターは、本県における地域に根差した国際交流拠点として、多文化共生、国際交流・国際協力を推進するため、次の事業を実施した。

### 多文化共生の地域づくり

#### 1 在住外国人支援事業

##### (1) 外国人の保護者向け生活設計支援事業

外国人の保護者に対して、定住を前提とした日本の教育制度や就労環境など、日本での長期的な生活設計を考えるための情報を提供する「ライフプラン講座」を実施した。

日 時：令和5年2月18日（土）

場 所：美濃加茂生涯学習センター（美濃加茂市）

参加者：美濃加茂市及びその近隣地域の在住外国人保護者 31名

内 容：日本の教育制度や教育費、日本の生活に必要な費用、雇用形態の違い

講師：みき TFP 事務所 ファイナンシャルプランナー 竹内 幹 氏

##### (2) 外国人児童生徒キャリア教育支援事業

外国人児童生徒が、より早い段階から進路選択の幅を広げ、将来の具体的な目標・進路を考えるきっかけ作りとして、外国人の先輩社員が仕事のやりがいなどを紹介し、進路選択に向けてのアドバイスを行う講座とモノづくりの実習体験を開催した。

###### <県立加茂高等学校定時制課程>

日 時：令和4年7月15日（金）17：30～19：00（1、2時間目）

場 所：加茂高等学校（美濃加茂市）

参加者：2年及び4年生 41名

内 容：[1時間目] 給与明細の見方

講師：みき TFP 事務所 ファイナンシャルプランナー 竹内 幹 氏

###### [2時間目] 外国人先輩の講話

講師：大中 エレンさん（ブラジル）

就職試験の面接マナー・模擬面接

講師：Man to Man 株式会社 村山 グスタボ氏

###### <県立国際たくみアカデミー>

日 時：令和4年8月29日（月）15：00～16：00

場 所：国際たくみアカデミー（美濃加茂市）

参加者：ベトナム人留学生等14名（ベトナム7名、スリランカ3名、ミャンマー1名、ネパール1名、インドネシア1名、カンボジア1名）

内 容：ベトナムと日本との法律制度の違い

〔講師〕ベトナム出身の国際交流員及び在住外国人支援相談員

<ブラジル人学校H I R O学園>

日 時：令和4年9月8日（木）13：30～15：00

場 所：国際たくみアカデミー（美濃加茂市）

参加者：高校2年生 17名

内 容：生産技術科の授業体験（メカトロニクス実習及びCAD/CAM実習）

<県立東濃高等学校>

日 時：令和4年12月5日（月）14：30～15：20（6時間目）

場 所：東濃高等学校（御嵩町）

参加者：1年及び2年生 39名

内 容：外国人先輩の講話

[講師] 吉實 ヨシオさん（ブラジル）、アレマニア ハルビさん（フィリピン）

<ブラジル人学校H I R O学園>

日 時：令和5年2月22日（水）13：55～14：45

場 所：H I R O学園（大垣市）

参加者：高校3年生 20名

内 容：外国人先輩の講話

[講師] ブラジル出身の国際交流員

**(3) 外国人防災対策事業**

**①多言語自動発信システムの運用**

災害時に市町村が発令する避難情報、河川情報等を外国人県民に提供するため、県と連携し、6言語（やさしい日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語）に翻訳し、センターのフェイスブック等で発信するとともに、翻訳情報を市町村や企業等の登録メールに配信する「多言語自動発信システム」を運用した。

多言語自動発信システム委託先：ファーストメディア株式会社

発信件数：39件

**②防災講座の実施**

ブラジル人学校H I R O学園の児童生徒を対象に「自らの命は自ら守る」基本的な防災意識を身に付けてもらうため、県の出前講座を活用して地震体験車や浸水害の模型を使った防災講座を実施した。

<浸水害対策講座>

日 時：令和4年10月6日（木）13：30～13：55

場 所：H I R O学園（大垣市）

参加者：小学校3年及び4年生 18名

内 容：大垣土木事務所職員による浸水害模型を用いた講座

<地震対策講座>

日 時：令和5年3月1日（水）9：05～12：00

場 所：H I R O学園（大垣市）

参加者：〔講座〕高校2年及び3年生 36名

〔地震体験車〕全校生徒 176名

内 容：県防災課職員による地震対策講座及び地震体験車による地震体験

## 2 外国人相談員配置事業

### (1) 岐阜県在住外国人相談センター・相談事業 県受託事業

岐阜県在住外国人相談センターとして、外国人県民が日常生活で直面している様々な問題の解決に向けて、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語が堪能な相談員を配置し、相談、通訳等を行った。さらに、その他の言語に対応すべく、14言語の電話通訳サービスを活用し、県機関や市町村等における外国人とのコミュニケーションを電話でサポートした。また、新型コロナ対策としてLINE通話を利用した相談にも対応するとともに、多様な相談に対応するため、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語の3言語を対象にした「カウンセラー（こころの）相談」、「行政書士相談会」、「名古屋出入国在留管理局職員による相談会」、「弁護士による法律相談」等を実施した。

#### ・相談実績

相談件数：1,075件

#### ・行政書士相談会

実施日数：1日 相談件数：1件

#### ・こころの相談

ポルトガル語 実施日数：12日 相談件数：54件

専門家：イリネウ・カルロス・ダ・シウバ・ジョウ氏

タガログ語 実施日数：2日 相談件数：4件

専門家：守戸・エイプリル氏

ベトナム語 実施日数：3日 相談件数：6件

専門家：ベ・ミン・ニヤット氏

#### ・名古屋出入国在留管理局職員による相談会

実施日数：4日 相談件数：4件

#### ・弁護士による法律相談

実施日数：7日 相談件数：11件

### (2) 外国人相談員等ネットワーク会議 県受託事業

外国人県民を取り巻く様々な相談等に対応するとともに、県内の相談体制の連携を図るため、外国人相談員等ネットワーク会議を開催し、情報共有、意見交換、勉強会等を通じて、相互のネットワークの構築と、県内全域における総合的な多文化共生等を推進した。

#### [第1回]

日 時：令和4年11月29日（火） 10:00～11:30

実施方法：Web会議システム Zoom

内 容：講演「法律相談と法テラスの機能」

〔講師〕日本司法支援センター岐阜地方事務所（法テラス岐阜）

事務局長 高橋 洋輔 氏

参加者：市町、市町国際交流協会相談員、県事務所相談員 14名

## [第2回]

日 時：令和5年2月27日（月） 10：00～11：30

実施方法：Web会議システムZoom

内 容：社会保険などに関する説明

- ・社会保険、住民税、所得税の基礎
- ・妊娠出産に係る各種手当
- ・扶養について（税法上、社会保険上の扶養の違い等）
- ・質疑応答

【講師】みきTFP事務所 ファイナンシャルプランナー 竹内 幹 氏

参加者：市町、市町国際交流協会相談員、県事務所相談員ほか 22名

## 3 日本語指導者育成支援事業

### （1）外国人の子どもの日本語支援者育成研修

外国人児童生徒に適切な日本語学習支援ができるよう、子どもへの日本語指導法や支援に際して気をつける事項などを学ぶ研修を実施し、地域における外国人の子どもの日本語学習支援者の育成、確保を図った。

研修名：外国人の子どものリモート学習支援講座＜入門編＞

日 時：令和4年 9月25日（日）、10月2日（日）、9日（日） 10：00～12：00

令和4年10月16日（日） 10：00～16：00

場 所：多文化共生センターフレビア（可児市）

参加者：外国人の子どもの日本語支援に興味がある方 延べ58名

内 容：[第1回] 学校外の外国につながる子どもの支援、リモート授業の振り返り

[第2回] Microsoft Teams の操作方法

[第3回] オンラインホワイトボードの操作方法、オンライン教材の活用方法

[第4回] オンライン教材の作成、教室での活動体験、意見交換会

講 師：（特非）可児市国際交流協会

事務局長 各務 真弓氏

さつき・かがやき教室コーディネーター 岡田 守弘氏

きぼう教室コーディネーター 善本 安子氏、バグシカン・カリル氏

可児市教育委員会教育研究所 指導主事 杉本 和昭氏

### （2）日本語教室連絡会議・研修会等の開催

県内の日本語教室を活性化し、日本語教育の体制整備を図るため、連絡会議及び研修会を開催した。

#### [第1回]

日 時：令和4年6月21日（火） 14：00～16：15

実施方法：Web会議システムZoom

参加者：市町国際交流協会職員、地域日本語教室関係者、地域日本語教育アドバイザー 23名

講 師：岐阜県外国人活躍・多文化共生推進課

日本語教育総括コーディネーター 横山 博信 氏

内 容：岐阜県日本語教育の総合的な体制づくり推進事業について

情報共有・意見交換会

## [第2回]

日 時：令和4年10月16日（日）10：00～16：00

場 所：多文化共生センターフレビア（可児市）

参加者：地域日本語教室の学習支援者等 13名

講 師：(特非) 可児市国際交流協会

さつき・かがやき教室コーディネーター 岡田 守弘氏

きぼう教室コーディネーター 善本 安子氏、バグシカン・カリル氏

内 容：子どもへの日本語学習支援（オンライン教材の作成、教室での活動体験、意見交換会）

※外国人の子どもの日本語支援者育成研修（第4回）を、当該会議（第2回）として位置づけて実施。

## （3）地域日本語教育アドバイザーの派遣

県内の日本語教室の運営や指導方法等のアドバイスを行う専門家を派遣し、各日本語教室が抱える課題解決を図った。

・派遣期間：令和4年5月16日（月）～12月18日（日）

・派遣費用：無料

・アドバイザー向け会議

日 時：令和4年6月14日（火）10：30～12：15

実施方法：Web会議システム Zoom

参加者：10名

・派遣先：岐阜県内の地域日本語教室、市町国際交流協会 5団体

団体名	派遣回数	内容
グローカルファミリー（各務原市）	4回	子どもへの日本語指導、教室運営
瑞穂市日本語サポートーズ	2回	学習支援者の確保、教室の目標設定
（公財）岐阜市国際交流協会	6回	教室の役割・目標の明確化、他教室の視察
白鳥町国際交流協会	5回	新規日本語教室の立ち上げ（対話交流型）
恵那市国際交流協会	4回	教材の活用方法、言語習得の考え方

## （4）県の在住外国人向け日本語教育全般に係る事業

外国人県民が地域の日本語教室に関する情報などを容易に検索できる「ぎふ日本語学習サイト」を6言語（やさしい日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語）で運営し、日本語教育に関する情報を適切に発信した。

## 地域の国際化推進のための環境づくり

### 1 情報サービス事業

#### (1) 交流サロン運営事業

日本人県民と外国人県民の交流、情報提供や相談の場、個人や国際関係団体の活動支援の場として交流サロンを設置し、日本語教材や図書資料の閲覧、国旗、会議室の貸出し等、各種サービスの充実を図った。

##### ①交流サロンの利用実績

610名（外国人78名、日本人532名）

##### ②県・市町村の行政情報等の多言語翻訳

256件

##### ③語学講座、外国文化紹介を行う多文化共生サロンの開催

###### ・語学講座

当センター及び県国際交流課の国際交流員が講師を務め、Web会議システムZoom上で開催した。

開講数：16回

（英語3回、ポルトガル語4回、フランス語3回、ベトナム語5回、日本語1回）

受講者数：延べ532人

（英語94人、ポルトガル語111人、フランス語109人、ベトナム語197人、日本語21人）

###### ・多文化共生サロン

###### <ブラジル体操をしよう！>

日 時：令和4年6月25日（土）10：00～11：00

場 所：ドリームシアター岐阜（岐阜市）

参加者：3名

###### <大使領事の一字書展>

日 時：令和4年8月22日（月）～9月9日（金）9：00～15：00

場 所：十六銀行本店ロビーギャラリー（岐阜市）

来場者：約8,000名

主 催：ぎふ善意通訳ガイドネットワーク

共 催：（公財）岐阜県国際交流センター

###### <イギリスのティーパーティ>

###### [第1回]

日 時：令和4年10月1日（土）10：30～12：00

場 所：岐阜県国際交流センター 交流サロン

参加者：10名

[第2回]

日 時：令和4年11月13日（日）10：30～12：00

場 所：岐阜県国際交流センター 交流サロン

参加者：9名

<ベトナムのコーヒー文化を知ろう>

日 時：令和4年11月5日（土）14：00～15：30

場 所：岐阜県国際交流センター 交流サロン

参加者：9名

<リトニアのお面を作りましょ～>

日 時：令和5年3月11日（土）10：00～12：30

場 所：岐阜県国際交流センター 会議室

参加者：10名

**④国際交流員等の学校、市町国際交流協会等への派遣**

依頼件数 27件（学校16件、国際交流団体8件、県関係機関等3件）

**(2) 情報提供事業**

当センターや国際交流団体等の取り組み等、国際交流や多文化共生に関する情報を幅広く県民に提供し、また、外国人県民に母語で生活に役立つ行政関連情報等を提供するため、刊行物の発行やホームページ等を通じて多言語で発信した。

**①「世界はひとつ」の発行**

当センターの取り組み、外国人向けの生活情報、国際交流・多文化共生情報等を掲載した多言語による情報誌を発行した。

発行部数：年3回 7、11、2月号 各3,000部（ホームページにも掲載）

掲載言語：日本語、英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語、ベトナム語

配 布 先：県、市町村、国際交流団体、NPO、大学、外国人学校、病院、商工会議所、  
賛助会員等

**②「国際交流の窓」の発行**

県、市町村の担当窓口や実施事業、国際交流団体の連絡先や活動内容、姉妹提携の状況等を掲載した冊子を発行した。

**③ホームページ及びフェイスブック等による情報提供**

当センター及び他団体の取り組み、生活関連情報、イベント情報、県政情報等を多言語で情報発信した。

掲載言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語

**④国際交流ネットワークの構築**

県内国際交流・協力団体、個人、学校、市町村担当職員などで構成するネットワークを構築し、情報交換・意見交換を通じて連携を深めるため、国際交流・協力ネットワークメーリングリストを

運営し、当センターからセンター主催イベント案内を随時配信した。

加入者（団体数）：29団体 170名（令和5年3月末現在）

## 2 国際交流・協力事業

### （1）国際交流促進事業

リトアニアやモロッコ等、県がこれまで推進してきた諸外国との交流・連携をさらに深化・拡充させるため、県や国際交流団体、海外県人会等と連携して、ビジネスや学術など多種多様な分野における草の根レベルでの国際交流の促進に取り組んだ。また、各国と本県の交流を県民に広く周知し、双方の魅力をPRするための講演会や展示会等の各種イベントを開催した。

#### ①リトアニア交流記念事業 **県受託事業**

多くの県民にリトアニアに親しんでもらうため、岐阜県主催の日リトアニア友好100周年記念イベント「リトアニアNOW2022」の一環として、文化交流イベントを開催した。

##### ア リトアニアパネル展

リトアニアの美しい町並みや自然、スギハラハウス、岐阜とリトアニアの交流軌跡等のパネルを展示了。

##### ＜知られざるリトアニアパネル展＞

日 時：令和4年8月19日（金）～9月19日（月）

場 所：岐阜県図書館（岐阜市）

##### ＜リトアニア観光・伝統工芸パネル展＞

日 時：令和4年9月1日（木）～9月19日（月）

場 所：アクティブG（岐阜市）

##### イ リトアニア文化講座・音楽コンサート

リトアニア出身のドルスカイテ・ギエドレ県国際交流員によるリトアニアの文化紹介や組みひもワークショップ、リトアニア出身のクラシック奏者と日本のジャズマンらにて結成された「<sup>ラーバス</sup>Labas！カルテット」によるリトアニア音楽コンサートを実施した。

##### ＜リトアニア文化講座・コンサート＞

日 時：令和4年8月21日（日）14：00～16：30

場 所：中津川中央公民館ホール（中津川市）

参加者：60名

協 力：中津川市

##### ＜リトアニア音楽ファミリーコンサート＞

日 時：令和4年8月22日（月）13：30～14：45

場 所：大垣市スイトピアセンター スイトピアホール（大垣市）

参加者：35名

協 力：（公財）大垣国際交流協会

<リトニア文化講座・学校訪問・コンサート>

・文化講座

日 時：令和4年9月4日（日）13：30～15：30

場 所：飛騨市役所西庁舎3階大会議室（飛騨市）

参加者：17名

協 力：飛騨市、つるしかざり研究会

・学校訪問

日 時：令和4年9月5日（月）10：15～15：30

場 所：飛騨市立古川中学校（飛騨市）

参加者：全校生徒412名

協 力：飛騨市、飛騨市立古川中学校

・コンサート

日 時：令和4年9月5日（月）19：00～20：30

場 所：飛騨市文化交流センター（飛騨市）

参加者：75名

協 力：飛騨市

<リトニア文化講座>

日 時：令和4年9月11日（日）13：30～15：00

場 所：中山道明治天皇大井行在所（恵那市）

参加者：28名

協 力：恵那市国際交流協会

②岐阜県人会インターナショナル事業 県受託事業

世界の岐阜県人会が、本県に一堂に会する第1回岐阜県人会世界大会に併せて、本県の伝統文化を体験する「体験交流ツアーワー」を実施した。

<体験交流バスツアー>

日 時：令和4年10月31日（月）～令和4年11月2日（水）

参加者：38名（添乗員2名）

場 所：岐阜県内（各務原市、関市、美濃市、下呂市、高山市、白川村、郡上市）

③岐阜・リトニア友好協会事務局の運営

リトニアとの友好関係の構築、発展のため、交流支援や情報発信・啓発活動を行った。

・理事会・総会の開催状況

第1回理事会：令和4年6月24日

議第1号 会長及び副会長の選出（案）

第2回理事会：令和5年3月6日

議第1号 令和4年度事業報告（案）について

議第2号 令和4年度決算報告（案）について

議第3号 令和5年度事業計画（案）について

議第4号 令和5年度収支予算（案）について

総会：令和4年6月17日

議第1号 令和3年度 事業報告

議第2号 令和3年度 決算報告

議第3号 役員選任（案）

議第4号 令和4年度 事業計画（案）

議第5号 令和4年度 収支予算（案）

・情報発信件数 47件

## （2）ハローギフ・ハローワールド開催事業

国際交流の啓発や国際理解の推進、日本人と外国人県民の交流促進のため、本県に活動拠点を置く国際交流・国際協力団体、外国人支援団体等の活動紹介、世界の歌や踊りのパフォーマンス、各國文化の体験等を行う国際交流イベントを岐阜市で開催した。なお、本年度は日リトニア友好100年、日印国交樹立70周年記念として実施した。

日 時：令和4年6月18日（土）10：00～15：00

場 所：みんなの森 ぎふメディアコスモス（岐阜市）

参加者：約3,000人

入場料：無料

関係団体数：38団体

委託先：岐阜県国際交流団体協議会

## （3）国際協力機構（JICA）協力事業

JICA（独立行政法人国際協力機構）岐阜デスクを設置し、県内の国際協力の窓口として、運営支援を行った。

## （4）岐阜県国際交流団体協議会（GIA）協力事業

岐阜県国際交流団体協議会の事務局を設置し、県内の国際関係団体の情報交換、相互の連携、協力の推進を図るため、運営支援を行った。

## （5）海外からの来訪者等の招へい・受け入れ 県受託事業

県が交流を進めるベトナム、フランス等、本県を訪れた来訪者等の受け入れに際し、通訳等必要な支援を行うとともに、民間国際交流団体と連携した講演会を開催し、更なる友好発展を図った。

＜日仏交流講話会＞

日 時：令和4年10月30日（日）15：00～17：00

場 所：岐阜県図書館（岐阜市）

参加者：180名

内 容：・フランス人落語家による落語公演

　　・岐阜県とフランスとの交流の歩み（映像視聴）

　　・リモートを活用した意見交換

主 催：岐阜日仏協会

共 催：岐阜県、（公財）岐阜県国際交流センター

### 3 県内留学生等支援事業

#### (1) 県費留学生及び県内 JET プログラム参加者支援事業 県受託事業

本県で任用される JET プログラム参加者の出迎えや、センターに着任した国際交流員の行政手続き及び生活立ち上げに係る支援を行った。

#### (2) 留学生等ネットワーク事業の運営

県内在住の留学生、技能実習生、岐阜県にゆかりがあり帰国後現地で活躍している方々を中心に、岐阜で得た経験や知識を現地で広めていただくとともに、帰国後の継続的な交流及び持続的なネットワークを推進した。また、当センターが事務局を担う岐阜・ベトナム友好協会と連携し、ベトナムを中心とする留学生等と日本人との交流会を岐阜・ベトナムにおいて実施した。

##### ①ベトナム岐阜留学生ネットワーク Facebook の運営 県受託事業

ベトナム岐阜留学生ネットワーク Facebook への投稿を行った。

- ・ネットワーク加入数：272名（令和5年3月末現在）
- ・新規加入者：11名
- ・情報発信件数：33件

##### ②岐阜県魅力発見・企業訪問バスツアー 県受託事業

ベトナム人留学生等とベトナムにゆかりのある県内企業の相互理解を促進し、留学生に本県で得た知識や経験を現地で広めてもらうため「岐阜県魅力発見・企業訪問バスツアー」を開催した。

###### [第1回]

日 時：令和4年8月24日（水）8：30～17：00

訪問先：【企業】（有）アルファ一工房（各務原市）、（株）キヨウワ（関市）

【観光】うだつの上がる街並み散策、美濃和紙雑貨づくり（美濃市）

参加者：9名（ベトナム6名、スリランカ1名、ネパール1名、中国1名）

###### [第2回]

日 時：令和4年8月31日（水）9：00～17：00

訪問先：【企業】イオンリテール株式会社（各務原市）

【観光】岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（各務原市）、長良川うかいミュージアム（岐阜市）

参加者：15名（ベトナム5名、ネパール6名、スリランカ1名、中国1名、バングラデシュ1名、ドイツ1名）

##### ③県内留学生等と地域住民との交流会 県受託事業

###### [第1回]

日 時：令和5年1月27日（金）9：30～11：30

場 所：じゅうろくプラザ 5階 小会議室1（岐阜市）

参加者：留学生16名、地域住民10名、国際交流員3名

内 容：留学生による自国紹介及び自由交流

協 力：ホツマイインターナショナル岐阜校

[第2回]

日 時：令和5年2月10日（金）9：30～11：30  
場 所：OKB ふれあい会館 14階 展望レセプションルーム（岐阜市）  
参加者：留学生19名、地域住民14名  
内 容：留学生による自國紹介及び自由交流  
協 力：ホツマイインターナショナル岐阜校

④ベトナム岐阜留学生等ネットワーク交流会（現地）県受託事業

<ベトナム岐阜留学生等ネットワーク交流会 in ハノイ>  
日 時：令和5年1月7日（土）18：00～20：00（現地時間）  
場 所：ホテル デュ パルク ハノイ（ベトナム）  
参加者：日本人17名、ベトナム人15名  
内 容：県産品展示・紹介、岐阜県の観光産業の動向報告、意見交換  
協 力：ハノイ岐阜県人会

<ベトナム岐阜留学生等ネットワーク交流会 in ホーチミン>

日 時：令和5年2月3日（金）18：00～20：00（現地時間）  
場 所：ロッテ ホテル サイゴン（ベトナム）  
参加者：日本人12名、ベトナム人18名  
内 容：県産品展示・紹介、岐阜県の観光産業の動向報告、意見交換  
協 力：ホーチミン岐阜県人会

⑤岐阜・ベトナム友好協会事務局の運営

ベトナムとの友好関係の構築・発展のため、交流支援や情報発信・啓発活動を行った。

・理事会・総会の開催

第1回理事会：令和4年6月30日

議第1号 会長の選出（案）

第2回理事会：令和5年3月6日

議第1号 令和4年度事業報告（案）について

議第2号 令和4年度決算報告（案）について

議第3号 令和5年度事業計画（案）について

議第4号 令和5年度収支予算（案）について

総会：令和4年6月23日

議第1号 令和3年度 事業報告

議第2号 令和3年度 決算報告

議第3号 役員選任（案）

議第4号 令和4年度 事業計画（案）

議第5号 令和4年度 収支予算（案）

・情報発信件数 10件

・その他 ベトナム・フエ省人民委員会来岐時の昼食懇談会の開催（7月29日）

## ボランティア・民間団体の活動促進

### 1 ボランティア支援事業

#### (1) ボランティア登録制度の運営

県民参加による国際交流・多文化共生を推進するため、「語学(通訳・翻訳)」、「災害時語学」、「日本語支援」、「日本語指導サポーター」、「ホームステイ」のボランティアの募集・登録を行い、活動機会の提供や他団体への紹介を行った。

登録者数（令和5年3月末現在）及び紹介状況

・ボランティア登録者数：400名

・語学	登録 177名、紹介 34件（うち収益事業13件）
・日本語支援	登録 131名、紹介 0件
・日本語指導サポーター	登録 38名、紹介 0件
・ホームステイ	登録 40名、紹介 0件
・災害時語学	登録 169名、派遣 0件

#### (2) 岐阜県医療通訳ボランティアの登録、斡旋事業等

##### ①医療通訳ボランティアの斡旋

医療機関からの依頼に対し、登録ボランティアの医療通訳業務の斡旋を行った。

利用医療登録機関：13病院

派遣実績：91件（ポルトガル語51件、中国語17件、タガログ語15件、ベトナム語8件）

##### ②医療通訳ボランティア研修

新たな人材の発掘及び育成を図るための基礎研修を実施した。

委託先：（特非）多文化共生センターきょうと

[第1回]

日 時：令和4年10月22日（土）10：30～12：00、13：00～14：30

実施方法：Web会議システムZoom

参加者：16名

言語別内訳：ポルトガル語6名、中国語3名、タガログ語4名、ベトナム語3名

内 容：医療通訳者に必要な知識・倫理、日本の医療制度に関する基礎知識

医療通訳者の役割、病院での受診の流れ、通訳技術（ノートテイキングの実践）

[第2回]

日 時：令和4年10月29日（土）10：00～12：30

実施方法：Web会議システムZoom

参加者：16名

言語別内訳：ポルトガル語6名、中国語3名、タガログ語4名、ベトナム語3名

内 容：身体の仕組みと主な疾患の基礎知識

[第3回目]

日 時：令和4年11月5日（土）10：00～12：00

実施方法：Web会議システムZoom

参加者：14名

言語別内訳：ポルトガル語6名、中国語2名、タガログ語4名、ベトナム語2名

内容：ロールプレイ通訳実習

### ③医療通訳ボランティアフォローアップ研修

医療通訳者としての役割を振り返り、自覚するとともに、様々な通訳場面・状況への対応力を身に付けていただくため、岐阜県医療通訳ボランティア斡旋事業の登録ボランティアを主な対象として、医療通訳ボランティアフォローアップ研修を実施した。

#### [第1回]

日 時：令和5年2月11日（土）13：30～15：30

場 所：岐阜県図書館（岐阜市）

内 容：「母語が日本語でない医療通訳者のために」～医療現場の日本語～

〔講師〕にほんごサポートひまわり会 代表 斎藤 裕子氏

参加者：11名

言語別内訳：ポルトガル語5名、中国語3名、タガログ語1名、ベトナム語2名

#### [第2回]

日 時：令和5年2月19日（日）10：00～11：30

実施方法：Web会議システムZoom

内 容：医療通訳体験談・ケーススタディ

〔講師〕にほんごサポートひまわり会 代表 斎藤 裕子氏

協力者：岐阜県総合医療センター中国語医療通訳者兼登録ボランティア 顧 安娜氏

元木沢記念病院 ポルトガル語医療通訳者兼登録ボランティア 赤木 美津江氏

参加者：12名

言語別内訳：ポルトガル語3名、中国語4名、タガログ語1名、ベトナム語4名

### ④医療通訳ボランティア登録試験

斡旋事業の登録ボランティアの拡充を図るため、登録試験を実施した。

日 時：令和4年12月17日（土）10：00～12：00

場 所：岐阜県国際交流センター

参加者：4名（言語別内訳 ポルトガル語1名、タガログ語1名、ベトナム語2名）

合格者：2名（言語別内訳 ポルトガル語1名、ベトナム語1名）

## （3）災害時語学ボランティアの研修、訓練

大規模災害時に翻訳や通訳派遣調整などを行う岐阜県災害時多言語支援センターの設置・運営訓練を実施するとともに、災害時語学ボランティアの育成・確保を図るために研修を実施した。

また、東海北陸地域国際化協会連絡協議会や全国の地域国際化協会との災害相互支援協定等に基づき、連携体制構築のための研修会や訓練に参加した。

### ①県災害時多言語支援センター設置訓練（岐阜県）

県と連携して当センター内に県災害時多言語支援センターを設置、運営する訓練を実施した。

日 時：令和4年6月10日（金）9：45～11：30

内 容：県災害時多言語支援センターの設置・運営において、実施すべき作業や、手順について確認

**②県災害時多言語支援センター設置訓練（岐阜市）**

岐阜市と連携して県災害時多言語支援センターを設置、運営する訓練を実施した。

日 時：令和4年11月29日（火）10：00～11：30

内 容：県災害時多言語支援センターの設置・運営において、実施すべき作業や、手順について確認

**③東海北陸ブロックでの災害時における外国人支援ネットワークの推進**

「大規模災害時の広域連携の体制づくりのためのネットワーク協定」に基づき、東海北陸地域国際化協会連絡協議会の災害予防対策研修会を実施した。

日 時：令和5年3月16日（木）13：30～15：30

実施方法：Web会議システムZoom

内 容：防災研修、シミュレーション訓練等

[講師] NPO多文化共生マネージャー全国協議会理事 北御門 織絵 氏

**④災害時語学ボランティア研修**

登録ボランティア等を対象とした災害研修を実施した。

日 時：令和5年3月18日（土）10：00～12：00

参加者：災害時語学ボランティア、語学ボランティア等 16名

内 容：災害時の外国人支援の課題、各自治体の取組み、平時での備え等

[講師] 特定非営利活動法人 多文化共生リソースセンター代表理事 土井 佳彦 氏

**2 国際交流・多文化共生推進助成事業**

県民主体の国際交流・国際協力及び多文化共生社会づくり事業を促進するため、県内の団体が実施する多文化共生や国際交流・国際協力事業に助成を行った。

助成件数：8件（国際交流・国際協力事業3件、多文化共生推進事業5件）

助成額：1,518千円

（国際交流・国際協力事業470千円、多文化共生推進事業1,048千円）

**経営基盤の整備等**

**1 賛助会員の募集**

4月1日付で、令和3年度の賛助会員に向けて、令和4年度加入の案内を行った。

加入者（団体）数：個人44人45口 団体64団体93口（3月末現在）

**2 広告掲載の募集**

当センターのホームページ及び情報誌「世界はひとつ」に広告を掲載した。

・広告掲載 2件

### 3 理事会・評議員会の開催

財団運営に関する事業計画・報告、収支予算・決算その他重要な事項についての審議、決定を受けるための理事会を5回、評議員会を3回開催した。

#### (1) 理事会の開催状況

第1回理事会：令和4年4月1日（決議の省略）

##### 提案事項

第1号議案 令和4年度第1回評議員会の開催の件

第2回理事会：令和4年6月1日

##### 提案事項

第1号議案 令和3年度事業報告の承認の件

第2号議案 令和3年度計算書類等の承認の件

第3号議案 令和4年度定時評議員会の招集の決定の件

第4号議案 地域国際化推進員の就業規程の一部改正について承認の件

第5号議案 在住外国人支援相談員の就業規程の一部改正について承認の件

##### 報告事項

1 職務執行状況について

2 令和4年度国際交流・多文化共生推進事業助成金の審査結果について

第3回理事会：令和4年6月23日（決議の省略）

##### 提案事項

第1号議案 代表理事（理事長）選定の件

第2号議案 業務執行理事（専務理事）選定の件

第4回理事会：令和4年12月15日（決議の省略）

##### 提案事項

第1号議案 特例職員の給与に関する規程の一部改正の件

第2号議案 令和4年度第3回評議員会の開催の件

第5回理事会：令和5年3月14日

第1号議案 令和5年度事業計画書及び収支予算書等の承認の件

第2号議案 事務局職員就業規程の一部改正について承認の件

第3号議案 地域国際化推進員の就業規程の一部改正について承認の件

第4号議案 在住外国人支援相談員の就業規程の一部改正について承認の件

第5号議案 再雇用規程の一部改正について承認の件

##### 報告事項

令和4年度職務執行状況について

#### (2) 評議員会の開催状況

第1回評議員会：令和4年4月1日（決議の省略）

##### 提案事項

第1号議案 補欠評議員の選任の件

##### 報告事項

令和4年度事業計画書及び収支予算書等について

第2回評議員会（定時評議員会）：令和4年6月23日

##### 提案事項

- 第1号議案 令和3年度計算書類等の承認の件  
第2号議案 評議員2名の辞任に伴う補欠評議員選任の件  
第3号議案 理事10名の任期満了に伴う理事選任の件  
第4号議案 監事2名の任期満了に伴う監事選任の件

報告事項

- 1 令和3年度事業報告について

第3回評議員会：令和4年12月15日（決議の省略）

提案事項

- 第1号議案 役員等の報酬等及び費用に関する規程の一部改正の件

4 資金調達の状況

- (1) 資金調達 なし  
(2) 設備投資  
①固定資産の取得 ノートパソコン7台 (841,610円)  
②固定資産の除却 なし

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。

**令和4年度 国際交流・多文化共生推進事業助成金  
助成事業一覧表**

【単位:円】

	No	事 業 名	団 体 名	交付決定額	最終助成額	備考
国際交流・協力事業	1	日中国交正常化50周年・岐阜市と杭州市碑文交換60周年的記念事業	岐阜日中文化交流協会	300,000	173,000	
	2	国交正常化50周年記念事業	岐阜県日本中国友好協会	241,000	223,000	
	3	2022国交樹立記念交流事業～岐阜市と下呂市をつなぐ～	ぎふ善意通訳ガイドネットワーク	94,000	74,000	
	小 計(A)			635,000	470,000	
多文化共生推進事業	1	ポルトガル語によるこころの相談	公益財団法人大垣国際交流協会	203,000	198,000	
	2	外国人高齢者の介護利用に関するヒアリング調査、並びに支援ネットワークの構築事業	一般社団法人中日福祉文化協会	129,000	0	事業中止
	3	「MICHI LINK はなそう！みよう！体験しよう！」プロジェクト	多文化演劇ユニットMICHI	239,000	226,000	
	4	第21回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会	岐阜地域留学生交流推進協議会	52,000	35,000	
	5	多文化共生フォーラム (テーマ①)～比べてみよう世界の食と文化～ (テーマ②)～各国の「違い」を尊重して共に生きる社会とは?～	岐阜県世界青年友の会	300,000	232,000	
	6	海外にルーツを持つ子ども達の居場所づくり	多文化子どもエデュnaho☆nico	381,000	357,000	
	7	瑞穂子どもの日本語教室	特定非営利活動法人メタノイア	500,000	0	助成辞退
	8	岐阜おとの日本語教室(JLPT-N5コース)	特定非営利活動法人メタノイア	500,000	0	助成辞退
小 計(B)				2,304,000	1,048,000	
合 計(A)+(B)				2,939,000	1,518,000	

**貸 借 対 照 表**

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1.流動資産</b>			
現金預金	15,590,303	18,945,791	△ 3,355,488
前払金	114,557	110,587	3,970
未収金	13,416,824	5,027,518	8,389,306
<b>流動資産合計</b>	<b>29,121,684</b>	<b>24,083,896</b>	<b>5,037,788</b>
<b>2.固定資産</b>			
(1) 基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
<b>基本財産合計</b>	<b>5,000,000</b>	<b>5,000,000</b>	<b>0</b>
(2) 特定資産			
国際交流・多文化共生推進事業基金	21,590,000	21,590,000	0
法人運営用基金	7,050,000	7,050,000	0
<b>特定資産合計</b>	<b>28,640,000</b>	<b>28,640,000</b>	<b>0</b>
(3) その他固定資産			
什器備品	1,039,148	570,222	468,926
敷金	871,000	871,000	0
<b>その他固定資産合計</b>	<b>1,910,148</b>	<b>1,441,222</b>	<b>468,926</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>35,550,148</b>	<b>35,081,222</b>	<b>468,926</b>
<b>資産合計</b>	<b>64,671,832</b>	<b>59,165,118</b>	<b>5,506,714</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1.流動負債</b>			
未払金	11,856,845	7,333,744	4,523,101
前受金	34,300	0	34,300
預り金	333,699	214,715	118,984
賞与引当金	1,796,116	1,939,875	△ 143,759
<b>流動負債合計</b>	<b>14,020,960</b>	<b>9,488,334</b>	<b>4,532,626</b>
<b>2.固定負債</b>			
退職給付引当金	396,486	127,659	268,827
<b>固定負債合計</b>	<b>396,486</b>	<b>127,659</b>	<b>268,827</b>
<b>負債合計</b>	<b>14,417,446</b>	<b>9,615,993</b>	<b>4,801,453</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1.指定正味財産</b>			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
<b>指定正味財産合計</b>	<b>5,000,000</b>	<b>5,000,000</b>	<b>0</b>
(うち基本財産への充当額)	( 5,000,000 )	( 5,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
<b>2.一般正味財産</b>			
(うち特定資産への充当額)	( 28,640,000 )	( 28,640,000 )	( 0 )
<b>正味財産合計</b>	<b>50,254,386</b>	<b>49,549,125</b>	<b>705,261</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>64,671,832</b>	<b>59,165,118</b>	<b>5,506,714</b>

## 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	50	50	0
基本財産受取利息	50	50	0
特定資産運用益	1,272	2,130	△ 858
国際交流・多文化共生推進事業基金受取利息	1,131	1,658	△ 527
法人運営用基金受取利息	141	472	△ 331
受取会費	554,600	509,700	44,900
賛助会員受取会費	554,600	509,700	44,900
事業収益	26,281,494	5,079,340	21,202,154
翻訳事業収益	83,600	86,900	△ 3,300
県受託事業収益	26,197,894	4,992,440	21,205,454
受取補助金等	48,305,653	59,776,166	△ 11,470,513
受取県補助金	48,253,613	59,776,166	△ 11,522,553
受取助成金	52,040	0	52,040
受取負担金	358,200	286,000	72,200
受取参加者負担金	158,200	86,000	72,200
受取国際協力推進事業負担金	150,000	150,000	0
受取岐阜県国際交流団体協議会負担金	50,000	50,000	0
雑収益	21,040	10,510	10,530
情報機器利用収益	0	10	△ 10
広告掲載収益	18,600	10,500	8,100
雑収益	2,440	0	2,440
<b>経常収益計</b>	<b>75,522,309</b>	<b>65,663,896</b>	<b>9,858,413</b>
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>			
非常勤専門職報酬	61,900,336	54,404,610	7,495,726
役員報酬	16,160,351	16,945,707	△ 785,356
職員手当	2,687,465	2,247,673	439,792
法定福利費	11,151,839	7,224,065	3,927,774
報償費	6,028,941	5,821,465	207,476
費用弁償	895,500	1,167,000	△ 271,500
業務旅費	158,672	85,940	72,732
消耗品費	1,068,022	157,998	910,024
会議費	753,072	630,374	122,698
光熱水費	330	0	330
印刷製本費	740,870	563,421	177,449
通信運搬費	170,904	31,259	139,645
手数料	113,132	63,698	49,434
保険料	11,626,641	7,408,041	4,218,600
委託料	4,439,220	3,455,083	984,137
賃借料	100,000	5,000	95,000
負担金	1,518,000	3,346,000	△ 1,828,000
助成金	1,438,931	1,303,137	135,794
賞与引当金繰入	43,400	10,800	32,600
公課費	198,932	127,659	71,273
退職給付費用	316,525	488,055	△ 171,530
減価償却費	328,790	1,269,847	△ 941,057

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	12,916,712	13,207,530	△ 290,818
非常勤専門職報酬	1,461,852	1,859,449	△ 397,597
役員報酬	3,061,412	3,521,496	△ 460,084
職員手当	3,270,952	2,960,124	310,828
法定福利費	1,215,410	1,637,652	△ 422,242
費用弁償	32,220	36,188	△ 3,968
業務旅費	98,504	37,522	60,982
消耗品費	199,225	208,463	△ 9,238
会議費	2,724	4,612	△ 1,888
光熱水費	216,318	216,932	△ 614
印刷製本費	0	906	△ 906
通信運搬費	213,808	194,558	19,250
手数料	705,564	191,328	514,236
委託料	588,500	0	588,500
賃借料	1,231,084	1,456,484	△ 225,400
負担金	135,500	168,000	△ 32,500
賞与引当金繰入	357,185	636,738	△ 279,553
公課費	400	400	0
退職給付費用	69,895	0	69,895
減価償却費	56,159	76,678	△ 20,519
経常費用計	74,817,048	67,612,140	7,204,908
評価損益等調整前当期経常増減額	705,261	△ 1,948,244	2,653,505
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	705,261	△ 1,948,244	2,653,505
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	705,261	△ 1,948,244	2,653,505
一般正味財産期首残高	44,549,125	46,497,369	△ 1,948,244
一般正味財産期末残高	45,254,386	44,549,125	705,261
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III 正味財産期末残高	50,254,386	49,549,125	705,261

**正味財産増減計算書内訳表**

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	50	0	50
基本財産受取利息	50	0	50
特定資産運用益	1,272	0	1,272
国際交流・多文化共生推進事業基金受取利息	1,131	0	1,131
法人運営用基金受取利息	141	0	141
受取会費	0	554,600	554,600
賛助会員受取会費	0	554,600	554,600
事業収益	26,281,494	0	26,281,494
翻訳事業収益	83,600		83,600
県受託事業収益	26,197,894	0	26,197,894
受取補助金等	34,095,975	14,209,678	48,305,653
受取県補助金	34,043,935	14,209,678	48,253,613
受取国補助金	0	0	0
受取助成金	52,040	0	52,040
受取負担金	358,200	0	358,200
受取参加者負担金	158,200	0	158,200
受取国際協力推進事業負担金	150,000	0	150,000
受取岐阜県国際交流団体協議会負担金	50,000	0	50,000
雑収益	19,540	1,500	21,040
情報機器利益収益	0	0	0
広告掲載収益	18,600	0	18,600
雑収益	940	1,500	2,440
経常収益計	60,756,531	14,765,778	75,522,309
(2) 経常費用			
事業費			
非常勤専門職報酬	61,900,336		61,900,336
役員報酬	16,160,351		16,160,351
職員手当	2,687,465		2,687,465
法定福利費	11,151,839		11,151,839
報償費	6,028,941		6,028,941
費用弁償	895,500		895,500
業務旅費	158,672		158,672
消耗品費	1,068,022		1,068,022
会議費	753,072		753,072
光熱水費	330		330
印刷製本費	740,870		740,870
通信運搬費	723,250		723,250
手数料	1,237,549		1,237,549
保険料	170,904		170,904
委託料	113,132		113,132
賃借料	11,626,641		11,626,641
消耗什器備品費	4,439,220		4,439,220
負担金	0		0
助成金	100,000		100,000
賞与引当金繰入	1,518,000		1,518,000
公課費	1,438,931		1,438,931
退職給付費用	43,400		43,400
減価償却費	198,932		198,932
筆耕翻訳料	316,525		316,525
	328,790		328,790

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合計
<b>管理費</b>			
非常勤専門職報酬	0	12,916,712	12,916,712
役員報酬	0	1,461,852	1,461,852
職員手当	0	3,061,412	3,061,412
法定福利費	0	3,270,952	3,270,952
費用弁償	0	1,215,410	1,215,410
業務旅費	0	32,220	32,220
消耗品費	0	98,504	98,504
会議費	0	199,225	199,225
光熱水費	0	2,724	2,724
印刷製本費	0	216,318	216,318
通信運搬費	0	213,808	213,808
手数料	0	705,564	705,564
委託料	0	588,500	588,500
賃借料	0	1,231,084	1,231,084
負担金	0	135,500	135,500
賞与引当金繰入	0	357,185	357,185
公課費	0	400	400
退職給付費用	0	69,895	69,895
減価償却費	0	56,159	56,159
<b>経常費用計</b>	61,900,336	12,916,712	74,817,048
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,143,805	1,849,066	705,261
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	△ 1,143,805	1,849,066	705,261
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
<b>経常外収益計</b>	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損		0	0
<b>経常外費用計</b>	0	0	0
<b>当期経常外増減額</b>	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,143,805	1,849,066	705,261
一般正味財産期首残高			44,549,125
一般正味財産期末残高			45,254,386
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			0
一般正味財産への振替額			0
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			5,000,000
指定正味財産期末残高			5,000,000
III 正味財産期末残高			50,254,386

## 財務諸表に対する注記

### 1 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

### 2 重要な会計方針

平成22年度会計から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

#### (1)有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

#### (2)棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし。

#### (3)固定資産の減価償却の方法

什器備品 …… 平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。  
なお、減価償却の仕訳とそれに基づく勘定記入は、直接法で実施している。

ソフトウェア …… 定額法によっている。

なお、減価償却の仕訳とそれに基づく勘定記入は、直接法で実施している。

#### (4)引当金の計上基準

賞与引当金 …… 次年度予算に計上した額を支給見込額として、当該事業年度に帰属する期間相当分を計上している。

退職給付引当金 …… 期末自己都合要支給額を計上している。

#### (5)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式によって行っている。

### 3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
国際交流・多文化共生推進事業基金				
定期預金	21,590,000	0	0	21,590,000
法人運営用基金				
定期預金	7,050,000	0	0	7,050,000
小 計	28,640,000	0	0	28,640,000
合 計	33,640,000	0	0	33,640,000

#### 4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	—
小計	5,000,000		(5,000,000)	
特定資産				
国際交流・多文化共生推進事業基金				
定期預金	21,590,000	(21,590,000)	(0)	(0)
法人運営用基金				
定期預金	7,050,000	(7,050,000)	(0)	(0)
小計	28,640,000	(28,640,000)	(0)	(0)
合 計	33,640,000	(28,640,000)	(5,000,000)	(0)

#### 5 担保に供している資産

該当なし。

#### 6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	9,428,123	8,388,975	1,039,148
合 計	9,428,123	8,388,975	1,039,148

#### 7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残額

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	(単位:円) 貸借対照表上の記載区分
補助金						
令和4年度岐阜県国際交流センター補助金	岐阜県	0	48,253,613	48,253,613	0	—
助成金						
地域国際化協会連絡協議会研修助成金	地域国際化協会連絡協議会	0	52,040	52,040	0	—
合 計		0	48,305,653	48,305,653	0	

**8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳**

該当なし。

**9 関連当事者との取引の内容**

該当なし。

**10 重要な後発事象**

該当なし。

**11 その他**

該当なし。

## 附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

### 2 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,939,875	1,796,116	1,939,875		1,796,116
退職給付引当金	127,659	268,827	0		396,486

## 財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>I 資産の部</b>				
<b>1. 流動資産</b>				
現金預金			運転資金として	10,000
現金	つり銭		運転資金として	15,246,604
決済用預金	十六銀行県民ふれあい会館出張所		歳入歳出外用	333,699
決済用預金	十六銀行県民ふれあい会館出張所		賛助会員用	0
決済用預金	十六銀行県民ふれあい会館出張所		外国人留学生奨学金用	0
決済用預金	十六銀行県民ふれあい会館出張所		国際交流・多文化共生推進事業用	0
決済用預金	商工組合中央金庫岐阜支店		法人運営用	0
決済用預金	岐阜信用金庫本店営業部		銀行振込オンラインサービス使用料等	114,557
前払金			県受託事業収益等	13,416,824
未収金				
<b>流動資産合計</b>				<b>29,121,684</b>
<b>2. 固定資産</b>				
(1) 基本財産				
定期預金	十六銀行県民ふれあい会館出張所		公益目的保有財産であり、運用益を国際交流及び多文化共生を推進する事業の財源として使用している	5,000,000
<b>基本財産合計</b>				<b>5,000,000</b>
(2) 特定資産				
国際交流・多文化共生推進事業基金	定期預金 大垣西濃信用金庫金華橋支店		公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	10,000,000
	定期預金 関信用金庫長森支店		公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	10,000,000
	定期預金 商工組合中央金庫岐阜支店		公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	1,590,000
法人運営用基金	定期預金 大垣共立銀行岐阜支店		法人運営用資産	3,000,000
<b>特定資産合計</b>				<b>4,050,000</b>
(3) その他固定資産				
什器備品	定期預金 岐阜信用金庫本店営業部		法人運営用資産	28,640,000
事務机、応接セット他	取得価額 9,428,123 円		公益目的事業86.2%及び管理業務13.8%に使用している	
敷金	償却累計額 8,388,975 円		公益目的事業81.2%及び管理業務18.8%に使用している	1,039,148
<b>その他固定資産合計</b>				<b>871,000</b>
<b>固定資産合計</b>				<b>35,550,148</b>
<b>資産合計</b>				<b>64,671,832</b>
<b>II 負債の部</b>				
<b>1. 流動負債</b>				
未払金			国際交流・多文化共生推進助成金 他	11,856,845
前受金			年間一括契約による広告掲載料 他	34,300
預り金			社会保険料本人負担分 他	333,699
賞与引当金			職員5名に対する賞与の支払いに備えたもの	1,796,116
<b>流動負債合計</b>				<b>14,020,960</b>
<b>2. 固定負債</b>				
退職給付引当金			職員の退職にかかる引当金	396,486
<b>固定負債合計</b>				<b>396,486</b>
<b>負債合計</b>				<b>14,417,446</b>
<b>正味財産</b>				<b>50,254,386</b>

# 3 令和5年度事業計画

## I 基本方針

平成24年4月に公益財団法人に移行し、県レベルの国際化を推進する地域国際化協会として、また、県の外郭団体として、公益法人の役割と責務を自覚し、県民、地域に信頼されるセンターとなる必要がある。

昨年（令和4年3月）、岐阜県は在住外国人を取り巻く環境の変化や、新たな課題などに対応するため、「岐阜県外国人材活躍・多文化共生推進基本方針」を改訂した。当センターにおいては、改訂された基本方針に基づき、外国人県民のための一元的相談窓口である岐阜県在住外国人相談センターを中心に、新型コロナウィルス感染症や新たな在留資格「特定技能」の創設に伴う対応など、「多文化共生」と「外国人材活躍」の両面から外国人県民が自立・活躍できる環境と体制の整備に向けて取り組んでいく。

また、平成29年度の県の事務事業見直し方針、外郭団体の事業実施体制の見直しの中で、当センターについては、国際交流事業の拡充が打ち出されたことを受け、県との協力・友好関係が進展している諸外国との民間レベルの交流促進に取り組んでいる。しかし、近年、コロナ禍でZoom等DXを活用した国際交流が急速に進展していること、また、従来型の交流に加え、ビジネス交流や学術交流など多様な分野での交流が活発化していること、県内で知識や技術を学び帰国後活躍している留学生や技能実習生等との交流継続が期待されることから、岐阜県にゆかりのある人々との繋がりを大切にし、多角的な国際交流を推進していく。

今後も県の施策に呼応して本県の中核的な国際交流拠点として、さらに県民の国際理解を増進するとともに、国際化推進のための環境づくりを行い、県民主体の多文化共生や国際交流・国際協力活動を促進し、文化や考え方の多様性が尊重され、安心して暮らせる多文化共生社会を構築するための事業を積極的に展開する。

なお、当センターの財政・運営環境は、改善傾向にあるものの、公益法人として、公益目的事業を適正に実施するため、中長期を見据えた経営基盤の強化・充実と業務の効率化を図ることが必要であり、様々な団体等との役割分担を再確認し、持続可能な組織運営体制のもとで、関係機関等との連携・協働を一層深め、広域的、モデル的な事業を中心に効果的に進めることとする。

## II 重点目標

### 1 多文化共生の地域づくり

外国人県民への日本での生活設計に向けた支援、外国人相談員の相談対応による問題解決等により、外国人県民が地域社会の一員として活躍できる環境づくりを進める。

### 2 地域の国際化推進のための環境づくり

地域に根ざした国際交流・多文化共生拠点として、行政、市町国際交流協会、N P O等民間団体、地域住民と連携し、外国人県民や関係団体への情報発信や活動の場の提供を行う。また、県が推進する国際交流推進施策と連動し、民間レベルの国際交流の推進に取り組んでいく。

### **3 ボランティア・民間団体の活動促進**

医療や災害などの広域的かつ緊急的課題に対応するボランティアの研修や、民間団体の実施事業への助成等を通じて、県民や民間団体の主体的な取組み支援、活動の活性化を図り、外国人県民が安心・安全に暮らせる環境づくりを推進する。

### **4 経営基盤の整備**

収益改善に向けた事業展開、賛助会員の拡大、広告掲載等により経営基盤の強化を図る。

## **Ⅲ 事業計画**

### **多文化共生の地域づくり**

#### **1 在住外国人支援事業【5,086千円】**

##### **(1) 外国人の保護者向け生活設計支援事業**

外国人の保護者に対して、定住を前提とした日本の教育制度、就労環境等を理解した上で生活設計をしてもらえるよう、新たに外国人学校を対象校に加え、ライフプラン講座を開催する。また、子どもの将来や進学、老後を見据え必要な情報をホームページや冊子等により幅広く周知する。

- ・日本の教育制度、教育費
- ・日本で生活するうえで必要な費用、社会保障制度、正社員と非正規社員等雇用形態の違い等

##### **(2) 外国人児童・生徒キャリア教育支援事業**

より早い段階から進路選択の幅を広げ、将来の具体的なキャリアビジョンを描いてもらうため、外国人児童生徒を対象に、仕事のやりがい及び日本で長く働くために必要な情報の提供や、ものづくりの実技・実習体験講座を関係機関と連携して開催する。

##### **(3) 外国人防災対策事業**

災害時に市町村が発令する避難情報、河川情報等を外国人県民に提供するため、県と連携し、6言語（やさしい日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語）に翻訳し、センターのフェイスブック等で発信とともに、翻訳情報を市町村登録メールに配信する「災害情報多言語自動発信システム」を運用する。

また、外国人県民に災害時の自助力を高めるための講座をブラジル人学校などで実施し、防災・減災意識の高揚を図る。

#### **2 外国人相談員配置事業【20,614千円】**

##### **(1) 岐阜県在住外国人相談センター・相談事業**

外国人県民が日常生活で直面している様々な問題の解決に向けて、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語の堪能な相談員を配置し、相談や助言、行政情報の翻訳などによる情報提供を行う。さらに、その他の言語に対応すべく、14言語の電話通訳サービスを導入し、県機関や市町村等における外国人とのコミュニケーションを円滑に行なう。

ケーションを電話でサポートするほか、在住外国人からよくある質問及びその回答を事例毎にまとめ、多言語で提供するなどホームページのコンテンツを拡充する。

また、新型コロナウィルス感染症への対応強化として設置した「C O V I D—19 外国語相談センター」の機能を維持するとともに、多種・多様な相談に対応するため、「名古屋出入国在留管理局職員による相談会」、「行政書士相談」、「カウンセラー（こころの）相談」、「弁護士による法律相談」など専門家と連携した相談を実施する。このほか、新たに相談員不在市町村等での出張相談会の開催や、ヤングケアラーなど新たな相談事例に対応するため、専門人材のリスト化、各種支援機関との連携調整を行う。

## （2）外国人相談員等ネットワーク会議

県内のメイン相談機関としての役割を担うため、外国人県民を取り巻く多様な相談への対応や、相談体制の連携・強化を図るため、情報共有、意見交換、勉強会等を行う外国人相談員等ネットワーク会議を開催する。

## 3 日本語指導者育成支援事業【11,619千円】

### （1）外国人の子どもの日本語支援者育成研修

外国人児童生徒に適切な日本語学習支援ができるよう、子どもへの日本語指導法や支援の心構え等を学ぶ研修を実施し、地域における外国人の子どもの日本語学習支援者の育成、確保を図る。

- ・対象：日本語教室の学習支援者、学校の日本語指導者・適応指導員等
- ・内容：子どもへの効果的な日本語指導方法、子ども支援に必要な心構えや知識

### （2）日本語教室連絡会議・研修会

県内の日本語教室を活性化し、岐阜県における日本語教育の体制整備を図るため、連絡会議又は研修会を開催する。

- ・対象：日本語教室代表者・学習支援者、市町村・市町国際交流協会職員等
- ・内容：日本語教室の活動報告及び課題の共有、情報交換、日本語教室活動のヒントとなる研修等

### （3）地域日本語教育アドバイザーの派遣

主に市町国際交流協会や地域のボランティア団体が実施する地域日本語教室へ、日本語教育専門家を派遣し、教室の運営や指導方法等、各日本語教室が抱える課題解決を図る。

## （4）在住外国人向け日本語教育全般に係る事業

### ① 日本語教育人材育成研修

地域における日本語教育の担い手として「地域日本語教育コーディネーター」と「日本語指導者」を育成するための研修会を実施する。

- ・対象：地域日本語教室で日本語教室の運営や日本語指導に従事している方  
　　日本語教育機関（大学・日本語学校等）で日本語教師として従事している方
- ・内容：地域の日本語教室に求められる役割、運営、関係機関との連携、「生活者としての外国人」に対する日本語教育に必要な知識と技術

## **② 日本語教育学習支援者講習会**

地域における日本語教育の担い手として「ボランティア人材」を発掘・育成を図ることを目的に、講習会を実施する。

- ・対象：地域日本語教室で活動している、あるいは活動を希望するボランティアの方
- ・内容：地域日本語教室の学習支援者として必要な資質、心構え、能力等

## **③ 地域日本語教育コーディネーターの派遣**

主に市町村や企業が実施する日本語教室へ、日本語教育に関する識見を有し、地域の日本語教室活動の実績を有する“地域日本語教育コーディネーター”を派遣し、教室の運営等の助言を行う。

## **④ 日本語学習サイトの運営**

外国人県民が地域の日本語教室に関する情報などを容易に検索できる「ぎふ日本語学習サイト」を6言語（やさしい日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語）で運営し、日本語教育に関する情報を適切に発信する。

### **地域の国際化推進のための環境づくり**

#### **1 情報サービス事業【6,047千円】**

##### **(1) 交流サロン運営事業**

日本人県民と外国人県民の交流、情報提供や相談の場及び個人や国際関係団体の活動支援の場として交流サロンを設置し、各種サービスの充実を図る。

- ・日本語教材や図書資料の閲覧、国旗、会議室の貸出、メッセージボードの運営
- ・国際交流・国際協力や国際理解に関する相談
- ・県・市町村の行政情報等の多言語翻訳・通訳の実施
- ・外国語講座、外国文化紹介を行う多文化共生サロンの開催、国際交流員による国際理解講座への講師派遣

##### **(2) 情報提供事業**

センターや国際関係団体等の取組み等、国際交流や多文化共生に関する情報を幅広く県民に提供し、また、外国人県民に母語で生活に役立つ行政関連情報等を多言語で提供するため、刊行物の発行やホームページ等を通じて発信する。

###### **① 情報誌「世界はひとつ」の発行**

- ・内 容：国際関係団体の取組み、外国人の生活情報、国際交流イベント情報等を紹介
- ・発行部数：年3回、各3,000部（ホームページにも掲載）
- ・掲載言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語

### ② 「国際交流の窓」の発行

- ・内 容：県、市町村、教育機関及び国際関係団体の連絡先や実施事業等を紹介
- ・発行部数：ホームページの掲載を基本とし、調査協力団体等のみ印刷物を送付

### ③ ホームページ及びフェイスブック等による情報提供

セキュリティ強化を行った上で、ホームページ及びフェイスブックを積極的に活用し、当センター及び他団体の取り組み、生活関連情報、イベント情報、県政情報等を多言語で情報発信する。

・掲載言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語

## 2 国際交流・協力事業【23,686千円】

### (1) 国際交流促進事業

リトアニアやフランス等、県がこれまで推進してきた諸外国との交流・連携をさらに深化・拡充させるため、県や国際交流団体、海外県人会等と連携して、ビジネスや学術など多種多様な分野における草の根レベルでの国際交流促進に取り組む。また、今年は、中国江西省との友好提携や南米県人会の創立等の節目を迎える年にあたることから、それらの国との交流を県民に広く周知し、双方の魅力をPRする展示会等の各種イベントを開催する。

### (2) ハローギフ・ハローワールド開催事業

国際交流の啓発や国際理解の推進、日本人と外国人県民の交流促進のため、本県に活動拠点を置く国際交流・国際協力団体、外国人支援団体等の活動紹介、世界の歌や踊りのパフォーマンス、各国文化の体験等を行う国際交流イベントを岐阜市で開催する。

### (3) 国際協力機構（JICA）協力事業

JICA（独立行政法人国際協力機構）が県内の国際協力の窓口として配置している岐阜県デスクの設置・運営を支援する。

### (4) 岐阜県国際交流団体協議会（GIA）協力事業

県内の国際関係団体で構成し、団体間の情報交換、相互の連携、協力の推進を図るために活動している岐阜県国際交流団体協議会の事務局の設置・運営を支援する。

### (5) 海外からの来訪者等の招へい・受入

海外からの来訪者・研修生（JETプログラム参加者・県費留学生含む）等の招へい・受け入れに係る支援を行う。

## 3 県内留学生等支援事業

### (1) 県費留学生及び県内JETプログラム参加者支援事業

本県で任用するJETプログラム参加者や県費留学生の来日後の生活に関する支援を行う。

## (2) 留学生等ネットワーク事業の運営

県内在住の留学生、技能実習生及び岐阜県にゆかりがあり帰国後現地で活躍している方々を中心に、岐阜で得た経験や知識を現地で広めていただくとともに、帰国後の継続的な交流及び持続的なネットワークを推進する。

### ボランティア・民間団体の活動促進

#### 1 ボランティア支援事業【6,642千円】

##### (1) ボランティア登録制度の運営

県民参加による国際交流・多文化共生を推進するため、「語学(通訳・翻訳)」、「災害時語学」、「日本語支援」、「ホームステイ」の4分野におけるボランティアの募集・登録を行い、市町村や国際関係団体からの紹介依頼、当センターの各種事業への参加等による活動機会の提供を行う。

##### (2) 医療通訳ボランティアの登録、斡旋事業等

県、医療機関及び当センターの連携により、「岐阜県医療通訳ボランティア斡旋事業」を実施する。当事業は、業務内容を理解した上で申し込みをした医療機関からの医療通訳業務の依頼に対し、登録ボランティアの医療通訳業務の斡旋を行う事務局を運営する。

また、医療通訳ボランティア登録者の拡充を目指した試験の実施や、登録ボランティアのスキルアップと医療通訳に関心のある方の育成を図るための研修や、医療通訳の業務内容及び医療現場での対応方法などの情報をまとめた冊子を作成する。

##### (3) 災害時語学ボランティアの研修、訓練

大規模災害時に翻訳や通訳派遣調整などを行う岐阜県災害時多言語支援センターの設置・運営訓練を実施するとともに、災害時語学ボランティアの育成・確保を図るための研修を実施する。また、東海北陸地域国際化協会連絡協議会や全国の地域国際化協会との災害相互支援協定等に基づき、連携体制構築のための研修会や訓練に参加する。

#### 2 國際交流・多文化共生推進助成事業【10,387千円】

県民主体の国際交流・国際協力及び多文化共生社会づくり事業を促進するため、県内の団体が実施する多文化共生や国際交流・国際協力事業に助成を行う。

- ・対象者：県内に活動拠点を有し、継続して国際交流・国際協力及び多文化共生推進活動を行う団体
- ・助成率：国際交流・国際協力事業 対象経費の1/2以内（補助限度額 30万円）

※以下の重点事業は、補助率を2/3以内、補助限度額を50万円とする。

①デジタル・トランスフォーメーション（DX）に係る事業

②岐阜県が友好促進する国及び地域との交流事業で効果が高いもの

多文化共生事業 対象経費の1/2以内（補助限度額 30万円）

※日本人と外国人が協働で行う事業は補助率2/3以内、補助限度額を50万円とする。

## 経営基盤の整備

### 1 収益改善に向けた事業展開

当センターの強みを活かした収益性の高い事業を県・市町村から受託する。

### 2 賛助会員の募集

当センターが実施する事業の開催時等の機会をとらえ、センター事業を P R とともに、賛助会員の加入募集等を行う。

### 3 広告掲載の募集

当センターのホームページ及び情報誌「世界はひとつ」への広告掲載について、各種機会をとらえ、P Rを行う。

## 令和5年度 前年比較予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額 a	前年度当初予算額 b	増 減 a - b	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1	5	△ 4	
基本財産受取利息	1	5	△ 4	
特定資産運用益	3	3	0	
国際交流・多文化共生推進事業基金受取利息	2	2	0	
法人運営用基金受取利息	1	1	0	
受取会費	500	500	0	
賛助会員受取会費	500	500	0	
事業収益	33,942	34,631	△ 689	法人: 79口×5千円 個人: 35口×3千円
翻訳事業	100	100	0	
県受託収益事業	33,842	34,531	△ 689	
受取補助金等	62,813	60,740	2,073	
受取県補助金	62,813	60,740	2,073	
受取助成金	0	0	0	
受取負担金	300	300	0	
受取参加者負担金	100	100	0	
受取国際協力推進事業負担金	150	150	0	
受取岐阜県国際交流団体協議会負担金	50	50	0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金振替額	0	0	0	
雑収益	55	55	0	
情報機器利益収益	5	5	0	
受取利息	0	0	0	
広告掲載収益	50	50	0	
<b>経常収益 計</b>	<b>97,614</b>	<b>96,234</b>	<b>1,380</b>	
(2) 経常費用				
事業費	84,081	84,801	△ 720	
非常勤専門職報酬	14,409	19,981	△ 5,572	
役員報酬	3,530	3,522	8	
職員手当	18,615	12,866	5,749	
退職給付費用	459	212	247	
法定福利費	7,103	7,043	60	
報償費	5,523	2,288	3,235	
費用弁償	1,938	1,149	789	
業務旅費	1,069	2,198	△ 1,129	
消耗品費	991	982	9	
対外交流費	101	502	△ 401	
会議費	151	565	△ 414	
光熱水費	678	620	58	
印刷製本費	1,191	1,074	117	
修繕料	0	0	0	
通信運搬費	1,346	1,674	△ 328	
手数料	556	30	526	
保険料	96	89	7	
委託料	11,150	15,980	△ 4,830	
賃借料	6,094	5,083	1,011	
消耗什器備品費	0	0	0	
負担金	0	5	△ 5	
助成金	6,000	6,000	0	
公課費	33	2	31	
広告料	0	0	0	
筆耕翻訳料	932	829	103	
賞与引当金繰入	1,828	1,816	12	
減価償却費	288	291	△ 3	

(単位：千円)

科 目	予算額 a	前年度当初予算額 b	増 減 a - b	備 考
<b>管理費</b>	<b>14,176</b>	<b>13,702</b>	<b>474</b>	
非常勤専門職報酬	1,711	1,661	50	
役員報酬	3,769	3,757	12	
職員手当	3,705	3,666	39	
退職給付費用	96	74	22	
法定福利費	1,558	1,438	120	
費用弁償	42	47	△ 5	
業務旅費	56	59	△ 3	
交際費	10	10	0	
消耗品費	111	116	△ 5	
対外交流費	5	5	0	
会議費	6	6	0	
光熱水費	198	182	16	
印刷製本費	7	7	0	
修繕料	0	0	0	
通信運搬費	177	206	△ 29	
手数料	590	368	222	
委託料	25	25	0	
賃借料	1,212	1,150	62	
消耗什器備品費	150	160	△ 10	
負担金	130	185	△ 55	
公課費	13	1	12	
賞与引当金繰入	534	531	3	
減価償却費	71	48	23	
<b>経常費用 計</b>	<b>98,257</b>	<b>98,503</b>	<b>△ 246</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 643</b>	<b>△ 2,269</b>	<b>1,626</b>	
<b>2 経常外増減の部</b>				
<b>(1) 経常外収益</b>				
経常外収益計	0	0	0	
<b>(2) 経常外費用</b>				
経常外費用計	0	0	0	
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>他会計振替額</b>				
0	0	0	0	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 643</b>	<b>△ 2,269</b>	<b>1,626</b>	
一般正味財産期首残高	45,000	45,451	△ 451	
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>44,357</b>	<b>36,901</b>	<b>7,456</b>	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
一般正味財産への振替額	0	0	0	
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
指定正味財産期首残高	5,000	5,000	0	
指定正味財産期末残高	5,000	5,000	0	
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>49,357</b>	<b>41,901</b>	<b>7,456</b>	

## 4 資 料

### 1 図書・資料整備状況 (令和5年4月1日現在)

#### (1) にほんご教材（貸出用）

230冊 ※貸出は1人1回、2冊まで

期間は2週間



#### (2) 雑誌等

<月刊誌>

雑誌名	言語
ENGLISH JOURNAL	日・英語
聴く中国語	日・中国語

#### (3) 刊行資料等

内 容
外国人にルーツを持つ子ども・保護者のためのライフプランガイドブック (日、ポルトガル、タガログ、岐阜県国際交流センター、2018)
外国人の保護者向け 保育所・保育事業のご利用ガイドブック (日、英、中、ポルトガル、タガログ、岐阜県国際交流センター、2017)
外国人保護者のための小学校入学ガイドブック (日、英、中、ポルトガル、タガログ、岐阜県国際交流センター、2016)
多言語防災ガイドポケット版 (「日・英・中」、「日・ポルトガル・タガログ」、「日、ベトナム」、岐阜県国際交流センター、2019)
医療通訳教本 (中、ポルトガル、タガログ、日本語併記、岐阜県国際交流センター、2011) パンフレット「会社が伸びる外国人雇用」(日本語、2010)
地震防災ガイドブック (英、中、ポルトガル語、岐阜県、2006)
岐阜県生活ガイドブック (英・中・ポルトガル語、岐阜県国際交流センター、2008)
岐阜はやわかりブックINSTANT GIFU (英、岐阜県国際交流センター、2002)

#### (4) 辞書・辞典

言語	名 称
日本語	日本語大辞典 (講談社) 広辞苑 (岩波書店)
	対訳日本辞典 (講談社インターナショナル) カタカナ外来語／略語辞典 (自由国民社)

言語	名 称	
英語	現代英英辞典（開拓社） 新英和大辞典（研究社） ワーズワード（同朋舎出版） ランダムハウス英和大辞典（小学館） コンサイス外国人名事典（三省堂） 日本紹介英語会話表現辞典（旺文社） 英和ビジュアルディクショナリー分解博物館（同朋舎出版） 英語日本図解辞典（小学館）	新漢英字典（研究社） 新和英大辞典（研究社） 日本医学会医学用語辞典（南山堂） コンサイス外国山名辞典（三省堂） 医学英和大辞典（南山堂）
中国語	中日大辞典（大修館書店）	日中辞典（小学館）
韓国語	日韓辞典（民衆書店）	韓日辞典（三修社）
フランス語	スタンダード和佛辞典（大修館書店）	仏和大辞典（小学館）
ポルトガル語	Dicionário Conciso(Da Língua Portuguesa) 現代ポルトガル語辞典（白水社）	現代日葡辞典（小学館）ほか
スペイン語	西和中辞典（小学館）	和西辞典（白水社）
オランダ語	オランダ語辞典（講談社）	
イタリア語	伊和中辞典（小学館） 和伊中辞典（小学館）	イタリア料理用語辞典（白水社）
ロシア語	コンサイス露和辞典（三省堂） 露和辞典（研究社）	コンサイス和露辞典（三省堂）
ペルシア語	日本語ペルシア語辞典（大学書林）	
ハンガリー語	ハンガリー語小辞典（泰流社）	
ミャンマー語	ビルマ語辞典（日本ビルマ文化協会）	
マレー語	日本語ーマレー語ー英語辞典（国際語学社）	
ラテン語	Latin Dictionary (ROUTLEDGE)	
ドイツ語	現代和独辞典（三修社）	現代独和辞典（三修社） 独和大辞典（小学館）

【国際交流サロン】



【にほんご教材貸出コーナー】

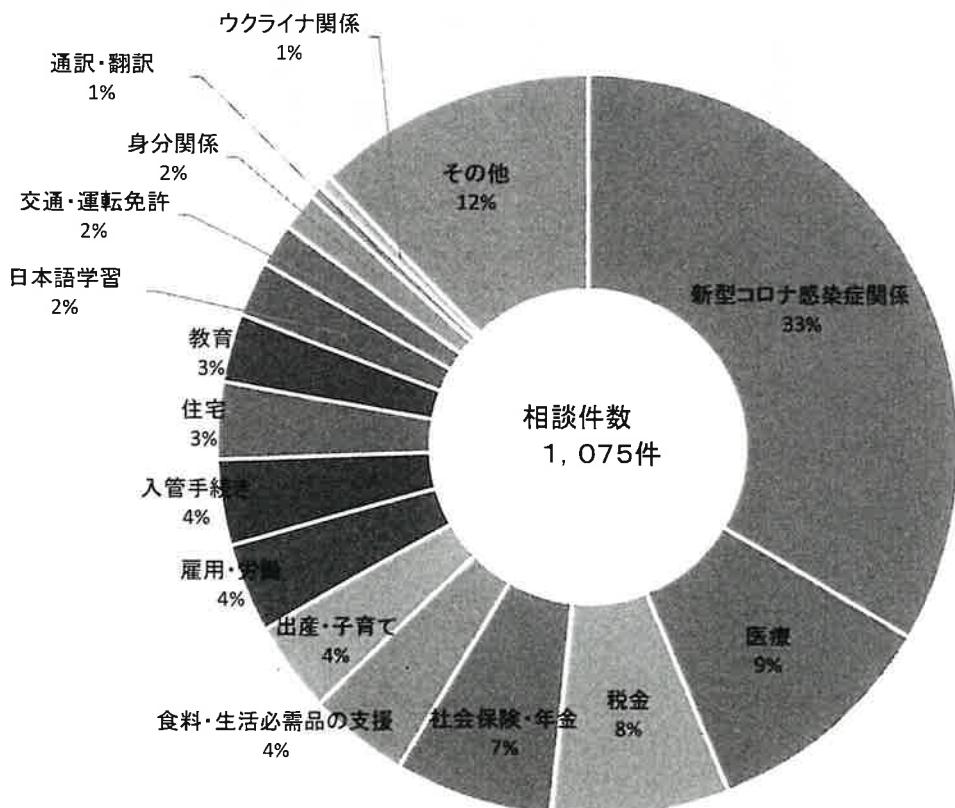


## 2 相談実績・交流サロン利用状況

### (1) 岐阜県在住外国人相談センターにおける相談実績

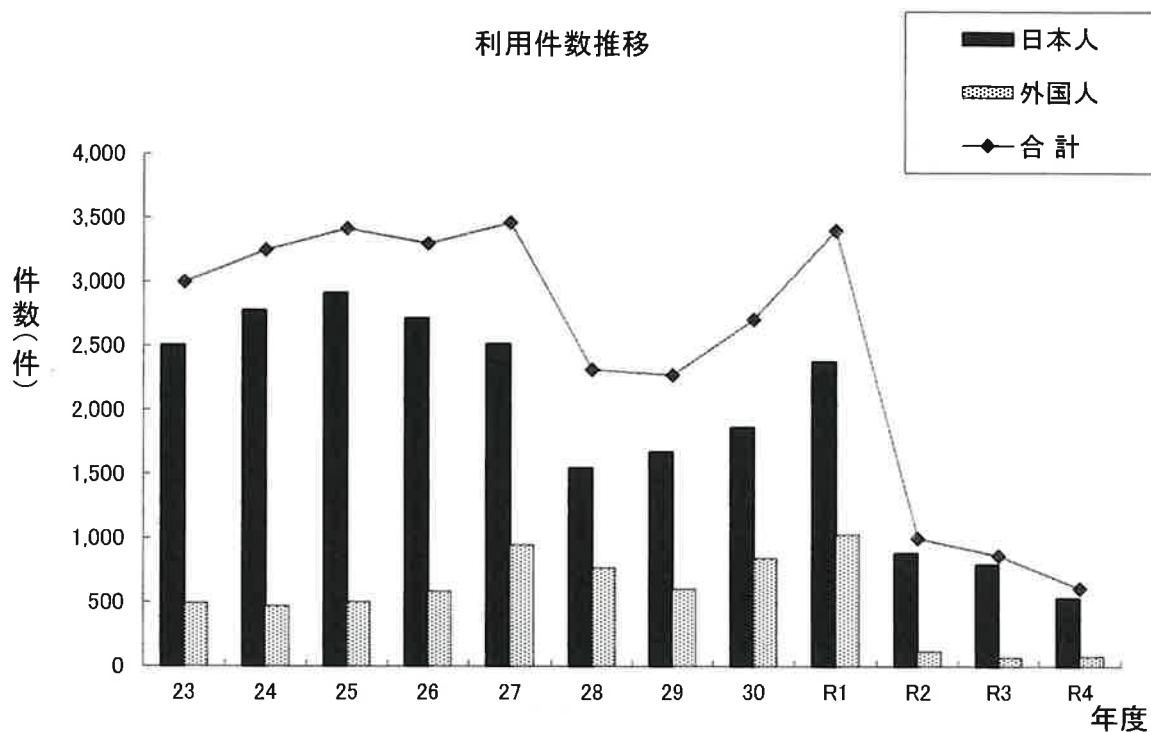
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

項目	件数
相 談	1,075
1. 入管手続き	40
2. 雇用・労働	42
3. 社会保険・年金	73
4. 税金	84
5. 医療	111
6. 出産・子育て	43
7. 教育(学校・大学・国際学校)	32
8. 日本語学習	26
9. 防災・災害	0
10. 住宅	36
11. 身分関係 結婚/離婚/DV等	18
12. 交通・運転免許	20
13. 通訳・翻訳	6
14. ウクライナ関係	6
15. 新型コロナ感染症関係	360
16. 食料・生活必需品の支援	47
17. その他	131



## (2) 交流サロン利用件数推移

年度		23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
交流サロン	日本人	2,506	2,779	2,914	2,716	2,517	1,547	1,671	1,865	2,378	882	795	532
	外国人	492	470	503	584	946	767	602	842	1,026	117	69	78
合計	2,998	3,249	3,417	3,300	3,463	2,314	2,273	2,707	3,404	999	864	610	



### 3 新聞記事

地域の国際化推進のための環境づくり

岐阜新聞 R4. 6. 19 朝刊 (岐阜新聞社提供)



3年ぶり「ハローワールド」

# 世界の文化が大集合

## メディコス フラメンコやインド舞踊、観客魅了



メディコスが万国一色に  
。岐阜市司町のみんなの森  
ぎふメディアコスモスで18日  
に開かれた国際交流イベント  
「ハローギフ・ハローワール  
ド2022」。スペイン伝統  
のフラメンコや南インドの舞  
踊が披露され、岐阜の文化拠  
点が国際色豊かに彩られた。  
(三輪真大)

カヌネットの小気味よい  
リズムに合わせ、情熱的なス  
テップの音が響くと、会場の  
観客たちはぐっと引き込まれ  
た。スペイン北部のバスク地  
方にある美食の町、サンセバ  
スチャン出身というサラ・グ  
リアス・サルミエントさん  
(51)=岐阜市柳津町=のフラ  
メンコ教室のステージ。観客  
も立ち上がりステップを踏  
む一幕もあった。

午後は打って変わって日  
本、インド国交樹立70周年を  
記念したインドのステージ。  
民族楽器のサントゥール、タ  
ブラ、シタールの音色が響く

と会場は神秘的な雰囲気に。  
神話や宗教との深いつながり  
があるとされる南インドの舞  
踊も披露され、独特的な音色が  
会場に響いた。

主催の県国際交流団体協議  
会加入団体の各ブースも並  
び、中国やヨーロッパ、アフ  
リカ、南米など多彩な國の文  
化が紹介され、多くの人でにぎわった。同協議会事務局長  
の市来恭子さんは「世界は一  
つにつながっていると感じ取  
つてもらえた」と願った。  
イベントは34回目。20、21

年の大会はコロナ禍で中止さ  
れ、3年ぶりの開催。19日は  
多文化交流フェスティバルが開かれ  
る。

本、インド国交樹立70周年を  
記念したインドのステージ。  
民族楽器のサントゥール、タ  
ブラ、シタールの音色が響く



参加団体のブースでは各国の美術品、文化、慣習などが紹介された

国際交流イベント「ハローギフ・ハローワールド2022」が十八日、岐阜市司町のぎふメディアコスモスであり、市民らが世界各地の踊りや民族衣装など異文化に触れた。

新型コロナウイルス禍の影響で、開催は三年ぶり。県国際交流団体協議会が主催し、二十六の国際交流団体が参加した。メイン会場では、岐阜スペイン文化センターの生徒らがフラメンコの踊りを披露するなど、

異国情緒に包まれた。各国の食材や布製品などを紹介する「コーナー」もあり、大垣市の団体「あせあん横丁」は、ビーフンやラヂオドリンクなど東南アジアの食材も紹介した。

協議会の市来恭子事務局長は「新型コロナの影響で制限が続いたが、県内で多く暮らす外国人と交流することで、世界とつながっていることを知ってほしい」と、国際親善の大切さを語った。  
(池内琢)

## 踊りや衣装 異国情緒漂う

3年ぶり 岐阜で交流イベント



フランメンコの踊りを披露する岐阜スペイン文化センターの生徒ら=岐阜市司町のぎふ・メディアコスモスで

## 企業を巡り 就職先の参考に



末松さん（左奥）とホアンさん（右奥）から歯科技工士の仕事について学ぶ留学生＝各務原市鶴沼朝日町のアルファー工房で

学生九人が参加した。

留学生らはJR岐阜駅からバスに乗り、入れ歯など

を製造・販売するアルファー工房（各務原市鶴沼朝日町）を訪問。ベトナム出身で日本の歯科技工士の資格を持つ社員のホアン・バビンさん（二十七歳）の案内で、コンピューター利用設計システム（CAD）を使って差し歯を設計する様子や、研磨の機械を見学した。

同社は今年、ベトナムに

支店をつくり、歯科技工士

の技術を現地の社員に伝え

ている。意見交換会で給料

について熱心に質問した岐

阜大工学部三年のファム・

トアン・タンさん（二十三歳）

は「日本でもベトナムでも働

けると聞き、いいなと思った」と話した。

ベトナムに工場がある機

械工作メーカーのキヨウワ（関市志津野）も見学し、うだつの上がる町並み（美濃市）も散策した。

県国際交流センターによると、県内に住むベトナム人労働者は二〇一六年十月の三千五十四人から、二一年十月には八千八百七十四人に増加。外国人労働者の四人に一人を占め、労働力として期待されている。

三十一日にも別のツアーア

があり、朝日大の留学生が

岐阜かかみがはつ航空宇宙

博物館（各務原市下切町）

などを訪れる。

（中根真依）

### 県内バスツアー 留学生参加

就職先として岐阜に興味を持つてもうおうと、県と光地を巡るバスツアーを開き、ベトナムなどからの留

学生九人が参加した。  
留学生らはJR岐阜駅からバスに乗り、入れ歯などを製造・販売するアルファー工房（各務原市鶴沼朝日町）を訪問。ベトナム出身で日本の歯科技工士の資格を持つ社員のホアン・バビンさん（二十七歳）の案内で、コンピューター利用設計システム（CAD）を使って差し歯を設計する様子や、研磨の機械を見学した。

同社は今年、ベトナムに支店をつくり、歯科技工士の技術を現地の社員に伝えている。意見交換会で給料について熱心に質問した岐阜大工学部三年のファム・トアン・タンさん（二十三歳）は「日本でもベトナムでも働くと聞き、いいなと思った」と話した。

ベトナムに工場がある機械工作メーカーのキヨウワ（関市志津野）も見学し、うだつの上がる町並み（美濃市）も散策した。

県国際交流センターによると、県内に住むベトナム人労働者は二〇一六年十月の三千五十四人から、二一年十月には八千八百七十四人に増加。外国人労働者の四人に一人を占め、労働力として期待されている。

三十一日にも別のツアーアがあり、朝日大の留学生が岐阜かかみがはつ航空宇宙博物館（各務原市下切町）などを訪れる。

（中根真依）

## 観光地や企業、理解深めるバスツアー

### 留学生、県の魅力体感

各務原で手巻きずし作り

県は、県内の大学などで学ぶ留学生らに県内に事業所のある企業、観光への理解を深めてもらうと31日、ベトナム人留学生らを対象にしたバスツアーを行つた。各務原市那加萱場町のイオンモール各務原では、企業説明を受けた後に、手巻きずし作りに挑戦して日本の食文化にも親しんだ。

県は、県内で学ぶ留学生に岐阜の観光や産業などの魅力を母国で広めてもらおうとツアーを企画。今回は朝日大(瑞穂市)のベトナム人留学生ら15人ほどが参加した。イオンは県と包括連携協定を結んでおり、から協力し、ベトナムなど海外にも店舗があることから留学生に自社を紹介した。



手巻きずし作りを体験するベトナム人留学生ら  
=各務原市那加萱場町、イオンモール各務原

昼食では、留学生たちは手巻きずし作りを体験。同店の食品部の担当者からすし飯や具の入れ方などの手ほどきを受け、手巻きずしを完成させていった。初めて手巻きずしを作ったゲエン・ヒュー・ズイさん(24)

は「のじを巻くのが難しかった」と話し、将来について「日本の企業で働きたい。ベトナムに店のあるイオンのことも今後、調べてみたい」と語った。  
その後一行は、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、長良川うかいミュージアムを見学した。(小森孝美)

## リトニアが身近に 古川中生、県交流員迎える

生徒にリトニアの文化を伝えるギエドレ・ドルスカイテさん(右)=飛騨市古川町、古川中学校



リトニアを身近にする  
国際交流会が5日、飛騨市  
古川町の古川中学校であ  
り、412人の全校生徒と  
職員が岐阜県とゆかりがあ  
る欧州の国を心に刻んだ。  
県が企画した「リトニア  
NOW 2022」の事業。ア  
ン県は第2次世界大戦中、リ  
トニアに駐在していたハ  
百津町出身の外交官杉原千  
畠氏がユダヤ人を「命のビ  
ザ」で救つたことを縁に国  
際交流を進めている。

生徒らは、民族衣装で同  
校を訪れたリトニア人の

リトニアを身近にする  
国際交流会が5日、飛騨市  
古川町の古川中学校であ  
り、412人の全校生徒と  
職員が岐阜県とゆかりがあ  
る欧州の国を心に刻んだ。  
県が企画した「リトニア  
NOW 2022」の事業。ア  
ン県は第2次世界大戦中、リ  
トニアに駐在していたハ  
百津町出身の外交官杉原千  
畠氏がユダヤ人を「命のビ  
ザ」で救つたことを縁に国  
際交流を進めている。

ギエドレさんは母国の風  
土や文化、歴史、料理な  
どを紹介し、国旗に使わ  
れている黄色は小麦、緑色  
は自然、赤色は独立のた  
めに流した血の色と説明。  
「バルトの道」と呼ばれる

人道精神による杉原氏の功績はよく知られているとし、ロシアのウクライナ侵攻で母国の親族が避難してきたウクライナ人女性を保護していることなどを伝え、「自分の国を守ろうと考えている人たちに親しみを感じている」と語った。生徒らは、ギエドレさん

に吹奏楽の演奏と剣道の稽古を披露し、充実した時間と共に過ごした。

(一川哲志)

バルト3国での大規模なデモ活動を経て、1991年に独立した国歩みを示した。

では同センターの職員が、県内の観光産業の近況を紹

介し、岐阜県への観光をPRした。鮎料理は塩焼きのほか、甘露煮や一夜干しが振る舞われた。

参加した元技能実習生のベトナム女性は「人の優しさや料理など、岐阜県で生活していた頃の思い出がよみがえった」と振り返り、元留学生のベトナム人女性

は「留学中は知らなかつた岐阜の文化や観光地を知ることができて、岐阜県のことをもっと知りたいと思った」と話していた。

(古家政徳)



岐阜県にゆかりのあるベトナム人らが集ま  
った交流会＝ベトナム・ホーチミン市、ロッ  
テホテルサイゴン

ベトナム・ホーチミン市で、岐阜県にゆかりのある元留学生・元技能実習生と同国に進出している県内企業の関係者との交流会が開かれ、約30人が鮎料理や日本酒、和菓子など県産品に舌鼓を打ちながら岐阜県の魅力を再確認し合った。今年は両国の外交樹立50周年でもあり、県国際交流課や県国際交流センターなどがホーチミン県人会に呼びかけて企画。1月にもハノイ市でハノイ県人会と共に交流会を開いていた。ホーチミン市での交流会



外国語のチラシを手に無料法律相談の利用を呼び掛ける古田修所長=岐阜市美江寺町、法テラス岐阜

## 外国語で無料法律相談

法テラス岐阜月1回、本年度から

日本司法支援センター岐阜地方事務所(法テラス岐阜、岐阜市美江寺町)は本年度から、弁護士による外国人向けの無料法律相談会を定期開催する。県国際交流センター(岐阜市柳ヶ瀬)、大垣国際交流協会(大垣市室本町)の2会場とそれぞれ共催で、月1回ずつ開く。

各会場の職員が通訳となるため、相談者は通訳の同伴が不要になり負担が軽減される。県内在住の外国人が対象で、事前に電話予約する。法テラス岐阜事務局にはこれまで毎週数件は外国人からの相談問い合わせがあり、体制を整えた。古田修所長は20日の会見で「既に予約が入っており、

需要の多さを感じる」と話した。

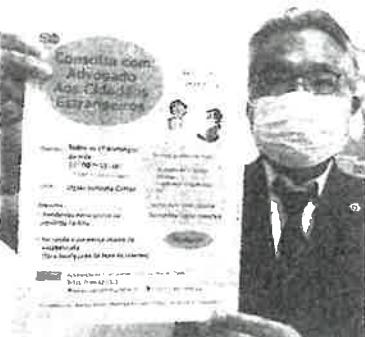
県国際交流センターは原則毎月第2木曜で、ポルトガル語、タガログ語、ベト

ナム語に対応。大垣国際交流協会は毎月第4日曜で、英語、中国語、ポルトガル語に対応。1回30分、資力

基準など条件がある。予約

1. は県国際交流センターが電話058(263)8066、大垣国際交流協会が電話0584(82)2311。(大堀瑠美)

日本司法支援センター岐阜地方事務所（法テラス岐阜）は本年度から、県内に住む外国人を対象にした無料の法律相談会を始める。会場には通訳がいるため、日本語が話せない人でも利用できる。対象言語はポルトガル語やタガログ語など五言語。



ボルトガル語など5言語に対応した外国人向けの法律相談会を紹介する古田修所長＝岐阜市美江寺町の法テラス岐阜で

## 外国人も気軽に法律相談を

法テラス岐阜、5言語に対応

法テラス岐阜が、県国際交流センター（岐阜市）と大垣国際交流協会（大垣市）と共に。法テラス岐阜の事務局によると、県内在住の外国人から、毎週複数の相談が寄せられることや、県内在住の外国人率が全国的に多いことから開催を決めた。

県国際交流センターと大垣国際交流協会が会場。センターの対応言語はポルトガル語、タガログ語、ベトナム語で、毎月第二木曜日（八月は水曜日）午後一時半～三時半。協会の対応言語は英語、中国語、ポルトガル語で毎月第四曜日午後一～三時。電話で予約する。（○県国際交流センター） 058（2663）8066、大垣国際交流協会 0584（82）2311

11

（大沢悠）

## 洪水対策、模型で学ぶ

HIRO学園で防災授業

「霞堤」の仕組みに興味津々



模型で霞堤の仕組みを学ぶ児童ら=大垣市上面、HIRO学園

大垣市上面のブラジル人  
学校HIRO学園で6日、  
防災・減災をテーマにした

授業があり、児童が伝統的な堤防「霞堤」の実験などを通して、防災意識を高めた。

県国際交流センターによる総合学習授業の一環で、小学3、4年生の計18人が参加。県大垣土木事務所職員が講師を務めた。

児童は、洪水被害を防ぐために400年ほど前からある伝統的な堤防の「輪中堤」と「霞堤」について説明を受けると、堤防に切れ目を設けて遊水域へ水を流す「霞堤」の仕組みを模型で学んだ。

ラ・マテウス君は「何のために堤防があるか分かった。家族を守れると思った」と話していた。(野田祐治)

# 大地震体感、防災に生かす

「準備が大切」

ヤマサキ・メリッサさんは  
「すごく怖かった。けが防止のために、いろいろな準備をした方がいいと思った」と話した。

高校2、3年生を対象に、  
県防災課職員による出前講座も実施。家具の固定や備蓄といった地震への備えや、災害時に取るべき避難最優先の行動などを伝えた。(野田祐治)

HIRO学園  
地震体験車で揺れを体感する児童 大垣市上面



## 大垣 ブラジル人学校で体験車授業

大垣市上面のブラジル人学校HIRO学園で1日、防災・減災をテーマにした授業があり、3歳から高校3年生までの約180人が地震体験車に乗って、防災意識を高めた。

県国際交流センターによる総合学習の一環。ブラジルには地震がなく、日本の自然災害を学び、家族にも対策を伝えてもらう狙い。地震体験車では、東日本大震災の揺れを再現。児童や生徒らは頭をテーブルの下に隠し、脚をしつかり握りながら、震度6弱の揺れを感じた。小学5年生の

掲載記事は新聞社の許諾を得て転載しています。



## 公益財団法人 岐阜県国際交流センター

開館時間 日曜日～金曜日 9：30～18：00（電話受付は9：00から開始）

住 所 〒500-8875 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2F

T E L 058-214-7700

F A X 058-263-8067

E-mail gic@gic.or.jp

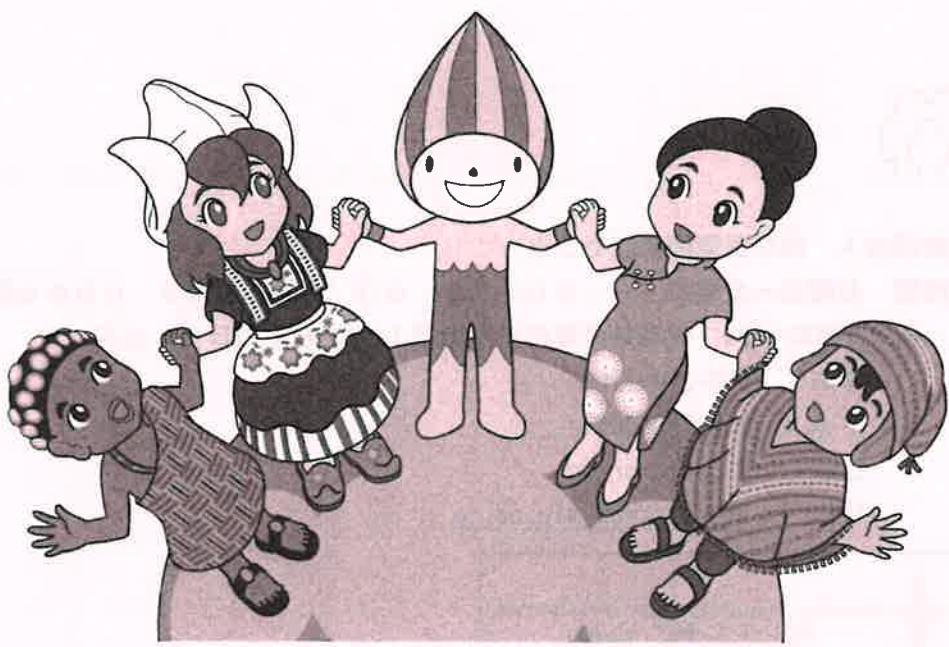
URL <https://www.gic.or.jp>



年報 2022年度

発行年月 令和5年10月

発行・編集 公益財団法人 岐阜県国際交流センター



©岐阜県 清流の国ぎふ・ミナモ #0195